

第5回尾花沢市小中学校建設検討委員会次第

令和4年9月27日（火）午後7時～
悠美館ハイビジョンホール

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 報告事項

- (1) 第2回新しい学校を考える市民ワークショップ開催結果…資料-2
- (2) 『僕たち私たちが考える学校を語ろう会』で出された意見

4. 協議事項

- (1) 尾花沢市小中学校建設基本構想・小学校建設基本計画（案）…資料-1

II. 小中学校建設基本構想

5. 学校施設整備の進め方

- (1) 尾花沢市が目指す教育の方向性
- (2) 尾花沢市が目指す学校のコンセプト
- (3) 具体的な学校施設整備の方向性

①学習空間について

②生活空間について

7. 建設計画地の概要

- (1) 建設場所の考え方

5. そ の 他

- 6. 次回日程 日時：10月25日（火）19時～21時
 場所：悠美館ハイビジョンホール

委員

No.	組織等	役職名	氏名	備考
1	小学校教職員代表	尾花沢小中学校校長会会長	水田 浩	
2	中学校教職員代表	尾花沢小中学校校長会副会長	高橋 和哉	
3	小学校の保護者代表	尾花沢小学校PTA会長	大山 英将	
4	〃	福原小学校PTA会長	柿崎 拓也	
5	〃	宮沢小学校PTA会長	加藤 伸輔	
6	〃	玉野小学校PTA会長	岩崎 賢一	
7	〃	常盤小学校PTA会長	佐藤 雅宏	
8	中学校の保護者代表	尾花沢中学校PTA会長	鈴木 完司	
9	〃	福原中学校PTA会長	菅野 敏幸	
10	〃	尾花沢中学校PTA副会長	柳橋 満由美	
11	幼稚園・保育園の保護者代表	保育施設保護者会連絡協議会 会長	加藤 誠	
12	〃	保育施設保護者会連絡協議会 副会長	伊藤 翔太	
13	〃	ひまわり保育園保護者会 副会長	堀之内 恵佳	
14	自治組織代表	尾花沢地区会長	笹原 光政	
15	〃	福原地区会長	加藤 静雄	
16	〃	宮沢地区会長	石山 洋幸	
17	〃	玉野地区会長	生田 健一	
18	〃	常盤地区会長	松本 純一	

アドバイザー

No.	組織等	役職名	氏名	備考
1	学識経験者 (教育の専門家)	山形大学大学院 教育実践研究科教授	三浦 登志一	
2	学識経験者 (建築・環境の専門家)	東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科学科長教授 ㈱みかんぐみ代表	竹内 昌義	
3	学識経験者(建築の専門家)	(公財)山形県建設技術センター 業務部建築課長	長岡 勇男	

事務局

No.	組織等	役職名	氏名	備考
1	事務局	こども教育課長	坂木 良一	
2	〃	教育指導室長	工藤 雅史	
3	〃	こども教育課長補佐 (兼)学園構想推進係長	鈴木 正樹	
4	〃	教育指導室 指導係長(兼)指導主事	田中 雄大	
5	〃	こども教育課管理係長	落合 夏樹	
6	〃	こども教育課学園構想推進係	高橋 隆	

尾花沢市小中学校建設基本構想・小学校建設基本計画
第5回(9.27)尾花沢市小中学校建設検討委員会検討項目

I. 基本構想・基本計画策定の背景・目的

II. 小中学校建設基本構想

1. 基本構想の概要
2. 社会情勢の変化
3. 上位計画・関連計画等
 - (1) 第7次尾花沢市総合振興計画
 - (2) 尾花沢市教育等の振興に関する大綱
 - (3) 尾花沢市学校教育全体構想
 - (4) 尾花沢市小中連携学力向上アクションプラン
 - (5) 新しい時代の学びの姿
 - (6) 第2次尾花沢市都市計画マスタープラン・尾花沢市立地適正化計画
 - (7) 尾花沢市環境基本計画
4. 小中学校の現状
 - (1) 学校施設の課題
 - (2) 児童生徒数の現況及び将来推計

検討項目

5. 学校施設整備の進め方

- (1) 尾花沢市が目指す教育の方向性
- (2) 尾花沢市が目指す学校のコンセプト
- (3) 具体的な学校施設整備の方向性
 - ①学習空間について
 - ②生活空間について
 - ③地域との連携・協働について
 - ④安全・安心について
 - ⑤持続可能な教育環境について
6. 施設の有効活用のために必要な事項

検討項目

7. 建設計画地の概要

- (1) 建設場所の考え方
- (2) 建設予定地及び周辺地域の地域性等
- (3) 建設予定地及び周辺の状況、土地利用計画

III. 小学校建設基本計画

1. 基本計画の概要
2. 施設規模
3. 配置計画
4. 諸室計画
5. 構造計画
6. 設備計画
7. 防災安全計画
8. 環境配慮計画
9. 事業スケジュール

尾花沢市小中学校建設基本構想・小学校建設基本計画（案）

5. 学校施設整備の進め方

(1) 尾花沢市が目指す教育の方向性

① 学力の向上（基礎づくり）

◆学ぶ力を育む

○【学びに向かう意欲の向上】

身近な事柄や生活と関わる教材や問題を有効活用し、好奇心や探究心を育む

○【基礎・基本の定着】

基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせ、自信を持って学びに挑戦させる

○【思考力・判断力・表現力の育成】

自ら考えたり表現したりする多様な学びの中で、思考力・判断力・表現力を育む

○【探究型学習の推進】

必要感のある課題を通して、探究的・協働的に学ぶ授業づくりを推進する

○【英語教育・ICT教育の推進】

小学校の外国語（活動）、中学校の英語、1人1台端末によるICT教育の充実に向けて機器や外部人材を積極的に活用した授業づくりを推進する

② 社会力の育成（活用場面）

◆豊かな心を育む

○【自尊感情の育成】

子供同士、教師と子供の関わりの中で、認め励まし合い、自尊感情や自己有用感を育む

○【いのちの教育の推進】

「いのち」の大切さ、自分らしい「生き方」等「いのちの教育」を推進する

○【協調性・社会性の教育】

子供同士が支え合い、相談し合える関係を大切にした主体的な活動を重視し、一人一人に寄り添う

○【読育の推進】

読書指導、家庭読書、読み聞かせ等の充実を図り、感性を磨き、想像力を豊かにする読書活動を推進する

○【社会力の向上】

地域行事への参加やボランティア活動等を通じた、社会力や豊かな人間性を育む

○【道徳教育の推進】

生き方について考えを深める道徳教育を推進し、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む

◆健やかな身体を育む

○【運動・スポーツの奨励】

運動やスポーツの楽しさを体験できる取組を奨励し、運動能力の向上と健やかな身体を育む

○【体力・ねばり強さの育成】

豊かな自然環境や地域に根ざしたスポーツを通じた、体力とねばり強さを育む

○【食育の推進】

給食の時間や教科・特別活動における食育の充実を図り、望ましい食習慣を形成する

○【生活リズムの確立】

早寝・早起き・朝ご飯を推進し、学習習慣や生活リズムの確立に努める

(2) 尾花沢市が目指す学校のコンセプト

『学ぶ力 豊かな心 健やかな身体を育む学校』

尾花沢市が目指す学校施設は、社会情勢の変化や上位計画・関連計画、小中学校の現況、アンケート調査結果、ワークショップでの意見等を考慮し、尾花沢市が目指す教育の方向性を実現するため、次のことに配慮した学び舎を創造する。

空間	内	容
学習	<ul style="list-style-type: none"> ▶確かな学力の育成 ▶多様な学習活動を可能にする教育環境 ▶ICT 教育環境の充実 ▶個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ▶探究型学習の推進 ▶学校図書室の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ▶インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進 ▶英語教育の推進 ▶基礎体力の向上と心身の健全育成 ▶幼保・小・中の連携 ▶効果的な教育活動を行うための働き方改革の推進
生活	<ul style="list-style-type: none"> ▶快適な環境 ▶子供の居場所を確保 ▶衛生的な環境 	<ul style="list-style-type: none"> ▶内装への木材の活用 ▶バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進
連携 協働	<ul style="list-style-type: none"> ▶ふるさと愛を育む ▶地域と共に子供を育む ▶他の公共施設との複合化・共用化 	<ul style="list-style-type: none"> ▶未来を担う人材を育む ▶放課後児童クラブとの連携 ▶地域に開かれた信頼される学校
安全 安心	<ul style="list-style-type: none"> ▶安全・安心な教育環境 ▶避難所としての学校 	<ul style="list-style-type: none"> ▶豪雪地にふさわしい学校
環境	<ul style="list-style-type: none"> ▶省エネルギー性能の確保 ▶環境教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ▶再生可能エネルギーの活用

(3) 具体的な学校施設整備の方向性

①『学習』…個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現する。

ア. 変化に対応する柔軟性・可変性をもたせる

ICT の活用により、時間や場所を限定しない学びが可能となるため、学校施設全体を学習に利用するという発想に立ち、デジタル化のための教育環境と合わせ、児童生徒の主体的な活動を喚起し、求められる学び・活動の変化に柔軟に対応できるようにする。

また、時代の変化に対応し、学校施設を長く有効に活用していくために、その時々ニーズに応じた改修がしやすい施設にする。

イ. 多様な学習活動を展開できる教室空間

GIGA スクール構想の実現のためには、1人1台端末の確保や高速大容量通信ネットワーク環境のほか、それに対応した教室用机や大型提示装置などを整備できる教室とし、ロッカーや充電保管庫等を教室外に配置することも考える。

多様な学習活動に柔軟に対応できる多目的スペースを教室の周辺に整備する際には、防音効果や温熱対策、可動間仕切りの設置、家具の配置の工夫、教職員の視野の確保に考慮する。

ウ. 読書・学習・情報のセンターとなる図書室「ラーニング・コモンズ」の整備

デジタル化の中で図書室の在り方を捉え直し、図書室を核にしてコンピュータ教室と組み合わせ、読書・学習・情報のセンターとしての役割を持たせる「ラーニング・コモンズ」を整備することで、ICTと図書を活用した、調べる、まとめる、発表するなどの学習活動を効果的・効率的に行えるようにする。

どの教室からも利用しやすいように「ラーニング・コモンズ」を学校の中心に配置し、誰もが立ち寄りやすい雰囲気にする事で、調べ学習での活用や、子供たちの自主的・自発的な学習と協働的な学習を促していく。

※ラーニング・コモンズ：情報通信環境が整い、自習やグループ学習用の家具や設備が用意され、相談係がいる開放的な学習空間。

エ. 設備や家具の導入による教室環境の充実と多様な学習活動の展開

1人1台端末に対応した教室用機の整備を進め、大型提示装置や充電保管庫、カメラなど通信装置等の遠隔会議システムの導入など、ICT環境整備を推進していく必要がある。

黒板だけでなく、プロジェクタや大型提示装置などを活用することで、黒板中心の学習から多角的な学習や活動が行えるようにしていく。

移動が容易な机、様々な大きさや高さの机、ロッカーなどの家具を配置することで、場面に応じた多様な活動が可能になり、少人数指導、対話や発表等、様々な学習シーンに応じて、スペースを柔軟に変更できたり、活発な議論を促したり、収納したり、家具の有効活用を検討する。

教材収納スペースや教材資材庫、掲示スペースを備え、書類や物品を整理する場所と掲示物が貼れる場所を確保していく。

オ. 働き方改革を推進し、教職員が効果的な教育活動を行える執務空間

学校施設は教職員が働く場でもあるため、職員室や準備室等において教職員がより効果的・効率的に授業の準備や研修等を行うことができるような執務環境を確保する必要がある。

また、日常的なコミュニケーションが図られ、リフレッシュできるラウンジなども執務スペースと連携させて整備することが重要である。

カ. 9年間の教育課程を見通した施設環境（小中学校の連携）

小学校・中学校の枠を超えた異学年交流は社会性や人間性を高めることから、学習・生活・遊び等多方面にわたり小学校と中学校が連携できるように諸室や施設配置を工夫する。

小学校と中学校が共通して取り組む事項や指導方法を共有化し、小中双方の教職員が子供一人一人の情報を共有して授業の改善につなげていくため、両校の教職員が連携しやすい施設整備を行う。

また、放課後は小学校の体育館を中学生の部活動の場として使用することや、小中学生の交流を図るためにランチルームでの会食を想定する。さらに、幼児期の教育と小学校教育が円滑に接続できるように、**幼稚園・保育園**との連携交流も想定した配置とする。

キ. 多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応（インクルーシブ教育システムの構築）

障がい、性別、国籍、経済上の理由などにかかわらず、共に育つことを基本理念として、バリアフリー・ユニバーサルデザインを進めインクルーシブな社会環境の整備が求められるため、車椅子利用者用トイレやスロープ等による段差解消、エレベーター等の整備を一層推進していく。

すべての子供が、安全かつ円滑に交流や共同学習を行えるスペース、落ち着いて学習できるスペース、クールダウンできるスペースを用意し、医療的ケアについてもスムーズに行えるように配慮する。

②『生活』…新しい生活様式を踏まえ、健やかな生活空間を実現する

ア. 快適で温かみのある生活空間

学校施設は子供たちの社会性・人間性を育む場でもあり、それにふさわしいゆとりと潤いのある快適な空間にしていく必要がある。子供たちがゆっくり過ごしたり落ち着いたりすることができる居場所となり、また、学校への愛着を育むことができるような温かみのある生活空間を創意工夫により整備していく。

木材は、断熱性や調湿性に優れ、温かみや味わいがあり、そこで学習・生活する子供たちや教職員の快適で健やかな環境を生み出し、健康面・学習面での効果も期待されることから、内装への木材の利用促進を考慮する。

子供たちのリフレッシュの場として、落ち着いた雰囲気の中でコミュニケーションや休憩をとることができるラウンジや、子供がその時々状態に応じて居場所にできる小空間・コーナー等を計画し、椅子やベンチ、畳、カーペットなどの家具を配置して、子供たちの自主的・自発的な学びや交流を生み出す工夫をする。

子供と調理員のコミュニケーションが図られ、栄養教諭と学校との連携が密になるなど、食育教育に有効であり、温かいものは温かく冷たいものは冷たいうちに適時に提供することができる自校方式の給食を**進め**、隣接して建設される予定の中学校への提供も含め検討していく。

イ. 健やかで衛生的な環境の整備

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と新しい生活様式も踏まえ、健やかに学習・生活できる衛生的な環境とする。

熱中症対策や衛生環境の改善を図るため、冷暖房設備等の整備を積極的に推進する。また、地域の避難所となる体育館についても断熱性能の確保と空調設備の整備を検討していく。

衛生環境の改善や生活スタイルの変化等を踏まえ、トイレの洋式化・乾式化と手洗い設備の非接触化、学校給食施設のドライシステムや空調設備の導入を推進する。

豪雪地帯である尾花沢市においては、11月中旬から4月中旬までの長い期間、雪に閉ざされグラウンドが使えないため、中学校においてはピロティを利用した活動を行っているが、高さや広さの制限があり活動が限定される。冬期間の運動不足解消や不足する活動場所を確保し、運動能力の向上と健やかな身体を育むために、冬でも野外スポーツが行えるような施設を検討していく。

7. 建設計画地の概要

(1) 建設場所の考え方

③ 建設候補地の比較評価表

評価項目	評価項目の内容	評 点						
		候補地1	候補地2	候補地3	候補地4	候補地5		
教育環境・生活環境	I. 校地環境の評価	15.6	14.0	15.8	14.8	18.0		
	1. 自然災害	① 洪水、雪崩、地滑り、土砂崩れ等の自然災害に対し安全	4.8	5.0	5.0	5.0	5.0	
	2. 地質	② 地質及び地盤が良好で、危険な埋設物や汚染、地震や陥没のない土壌	3.5	2.0	3.5	3.0	3.5	
	3. 地形	③ 危険な高低差や深い川などが無い安全な地形で、大規模な造成の必要がない	2.5	2.0	2.5	2.3	4.5	
	4. 環境景観	④ 日照、空気、見晴らし、景観、排水の便等が良好	4.8	5.0	4.8	4.5	5.0	
	II. 周辺環境の評価	25.5	24.0	23.6	27.9	29.3		
	1. 周辺環境	⑤ 頻繁に車が入り出りする施設がない	3.5	3.5	3.5	4.0	5.0	
		⑥ 騒音、振動、臭気等を発生する施設がない	3.0	3.0	2.3	5.0	3.8	
	2. 公共施設	⑦ 社会教育施設、社会体育施設と連携しやすい	1.5	1.5	1.5	3.3	4.5	
	3. 生活基盤整備	⑧ 主要道路との接続性が良い	5.0	4.5	4.5	2.0	4.0	
		⑨ 電力、通信、上水道、下水道の整備	2.5	2.0	2.0	4.8	3.5	
4. 教育環境	⑩ 風俗営業、性風俗関連特殊営業の営業所等、教育上ふさわしくない施設がない	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
	⑪ 学校建設が周辺施設への迷惑にならない	5.0	4.5	4.8	3.8	3.5		
アクセス	III. 通学環境の評価	15.0	18.2	18.4	20.0	24.9		
	1. 徒歩通学	⑫ 歩道、横断歩道、信号機、街路灯等の安全施設の整備状況、冬期間の歩道を確保できる	1.8	2.8	2.8	3.0	4.0	
		⑬ 児童生徒数が多い地域から近く、徒歩通学距離が短い	1.8	3.0	3.0	4.0	4.8	
		⑭ 空き家、水路、死角が多い所、人通りが少ない所、熊が出没する所を避けられる	1.8	2.3	2.3	3.0	4.8	
		⑮ 暴風雨、地吹雪の発生が少ない	1.3	2.3	2.5	4.5	3.8	
	2. スクールバス通学	⑯ 各地区からの乗車時間とアクセス環境が良い	4.8	4.5	4.5	4.0	3.0	
⑰ 一定幅以上の道路に接し渋滞の原因とならない		3.5	3.3	3.3	1.5	4.5		
まちづくり	IV. まちづくりの観点からの評価	6.3	6.6	6.3	10.8	14.3		
	1. まちづくり	⑰ これまでの定住・移住策として進めてきた宅地造成や公共施設の集約化を継続させ、市の主要施設から近く魅力ある市街地環境づくりが期待できる	1.8	1.8	1.8	2.8	5.0	
		⑱ 都市計画マスタープラン並びに立地適正化計画が目指す、都市機能の集約化、効率化を図り、生活利便性の高い、コンパクトな都市構造の実現に結びつく	1.5	1.8	1.5	3.5	4.8	
		⑳ 地域住民の徒歩及び車の利便性が高い	3.0	3.0	3.0	4.5	4.5	
総	合	評	点	62.4	62.8	64.1	73.5	86.5
順		位		5	4	3	2	1

講評：尾花沢市小中学校建設候補地について

尾花沢市小中学校建設検討委員会 アドバイザー

各候補地を以下のように評価する。

候補地①

主要道路との接続がよく、児童生徒のバス通学や地域住民の学校利用などの車を利用する際の利便性が高い点が評価できる。また、学校建設が周辺施設への迷惑にならないなどの利点も見られる。しかし、児童生徒の徒歩通学に関しては、通学距離、歩道等の安全施設の整備状況、人通りの少なさなどの課題が多い。また、国道347号に接していること、消防署・警察署が近くにあることで騒音の問題がある。さらに、魅力ある市街地環境づくりや生活利便性の高いコンパクトな都市構想の実現に結び付きにくいという課題もある。こうしたことから、学校建設の候補地には適していないと判断する。

候補地②

洪水や雪崩などの自然災害に対する安全性はあるものの、尾花沢楯岡断層が西側に接しているという問題点がある。児童生徒の徒歩通学の際の安全施設の整備状況やスクールバス通学でのアクセス環境などが適していると評価することができる。一方で、候補地一帯が周辺よりも全体的に低いため、多量の盛土をする必要が想定される点、社会教育施設や社会体育施設との連携、消防署・警察署が近くにあることで騒音の問題がある点、生活利便性の高いコンパクトな都市構想の実現に結び付きにくいという点に大きな課題がある。こうしたことから、学校建設の候補地にはあまり適していないと判断する。

候補地③

洪水や雪崩などの自然災害に対する安全性がある点、学校建設が周辺施設への迷惑にならない点、街路灯等の安全施設の整備状況・冬期間の歩道の確保などの点、スクールバス通学でのアクセス環境が高く評価できる。一方で、警察署・消防署が近くにあるため、緊急車両の警報音や救助への離着陸時の音や騒音の問題があり、学習の環境としてはあまり望ましくないものと思われる。社会教育施設や社会体育施設との連携、生活利便性の高いコンパクトな都市構想の実現に結び付きにくいという点に大きな課題がある。こうしたことから、学校建設の候補地にはあまり適していないと判断する。

候補地④

騒音や振動等を発生する施設がない点や上下水道が整備されている点、また暴風雨や地吹雪の発生が少ないなどの点が高く評価できる。また、児童生徒が多い地域から近く、通学距離が比較的短くなっている点や魅力ある市街地環境づくり、生活利便性の高いコンパクトな都市構造の実現に結び付きやすいという良さもある。幅2mと1.4mの蓋なしの導水路がある点、進入路が狭隘で広い進入路を新たに整備する必要がある点、奥まったところに位置し窮屈な感じがする点に課題がある。以上の点を踏まえて、候補地としてやや適していると判断する。

候補地⑤

課題点として主要道路との接続性やスクールバスによる通学の乗車時間がやや長くなる点、亜炭の採掘による空洞の可能性がある点が挙げられるものの、総合的に各評価項目において高い評価を与えることができる候補地である。特に、社会教育施設や社会体育施設との連携のしやすさ、児童生徒の徒歩通学距離の短さや、人通りの多さなどの通学の安全性に関わる部分で他の候補地よりも高く評価することができる。また、これまでの定住・移住策として進めてきた宅地造成などと併せた魅力ある市街地環境づくり、生活利便性の高いコンパクトな都市構造の実現に結び付くという観点から特に高く評価した。こうしたことから、候補地として最も適していると判断する。

学校を整備するにあたっては以下のことに留意すべきである。

人口減少社会においては、まちの中心部にコンパクトに施設を集める必要があり、今後、検討される公共施設については集約化と複合化が求められる。

コンパクトに施設を集め、それぞれの施設の連携を図る際には、車による移動から徒歩での移動に変えていく必要がある。尾花沢市のような豪雪地においては商業施設や公共施設、スポーツ施設、医療機関などを集積し、それらの施設に雁木（雪よけの屋根）を巡らせるなど、無雪空間によるネットワークが有効である。また、脱炭素社会の実現に向け、尾花沢市環境基本計画に基づき、エネルギーのあり方や再生エネルギーの導入に熱心に取り組まなければならない。単なる小中学校の建て替えに終わることなく、市の総合的な取組の中で小中学校建設を位置づけるべきである。

第2回新しい学校を考える市民ワークショップ開催結果

9月19日（月）に開催し、一般参加14名と事務局8名が3班に分かれて、学校建設に係る候補地5ヵ所について、「①子供たちの安全安心」、「②学習や活動しやすい環境」、「③地域連携とまちづくり」の3つの視点で、それぞれの「良い所」、「心配な所」について討論しました。

【①子供たちの安全・安心】

候補地	良い所	心配な所
1	交通のアクセスが良好、警察署と消防署が近く安心(防犯対策、緊急時対応)	市街地から遠い、地吹雪、冬期間の通学、蓋の無い水路、人通りが少ない、国道の交通量と横断、活断層、野生動物
2	交通のアクセスが良好、警察署と消防署が近く安心(防犯対策、緊急時対応)	市街地から遠い、地吹雪、冬期間の通学、蓋の無い水路、人通りが少ない、国道の交通量、活断層、野生動物
3	交通のアクセスが良好、警察署と消防署が近く安心(防犯対策、緊急時対応)	市街地から遠い、地吹雪、冬期間の通学、蓋の無い水路、人通りが少ない、国道の交通量、野生動物
4	住宅地に近く登下校で安心、地域住民の見守り、子供の多い地区から近く徒歩通学が良好	蓋の無い水路、周辺道路が狭隘、取付道路が無い、活断層、野生動物
5	住宅地に近く登下校で安心、地域住民の見守り、子供の多い地区から近く徒歩通学が良好	住宅地への騒音、炭鉱の坑道

【②学習や活動しやすい環境】

候補地	良い所	心配な所
1	周辺を気にせず活動できる、警察や消防、農業など社会科学習への活用、各地区とのアクセスが良好、自然が近い	市街地から遠い、文化的施設や運動施設から遠い、緊急車両のサイレン
2	周辺を気にせず活動できる、警察や消防、農業など社会科学習への活用、各地区とのアクセスが良好	市街地から遠い、文化的施設や運動施設から遠い、緊急車両のサイレン
3	周辺を気にせず活動できる、警察や消防、農業など社会科学習への活用、各地区とのアクセスが良好	市街地から遠い、文化的施設や運動施設から遠い、緊急車両のサイレン
4	市街地や公共施設に近く活動の幅が広がる、長根山運動公園・サルナート・悠美館・徳良湖等に近い、地域と連携した学習が可能	住宅地への騒音、周辺道路が狭隘
5	市街地や公共施設に近く活動の幅が広がる、長根山運動公園・サルナート・悠美館・徳良湖等に近い、地域と連携した学習が可能	住宅地への騒音、牛舎

【③地域連携とまちづくり】

候補地	良い所	心配な所
1	各地区とのアクセスが良好、車での利用が便利、新しいまちづくりの可能性	市街地から遠く行き来が不便、地域の人との関わりが少ない、他の施設と連携しにくい
2	各地区とのアクセスが良好、車での利用が便利、新しいまちづくりの可能性	市街地から遠く行き来が不便、地域の人との関わりが少ない、他の施設と連携しにくい
3	各地区とのアクセスが良好、車での利用が便利、新しいまちづくりの可能性	市街地から遠く行き来が不便、地域の人との関わりが少ない、他の施設と連携しにくい
4	市街地に近く徒歩で利用できる、周辺住民との関りが持てる、学校を中心とした街づくりにつなげやすい	住宅地への騒音
5	市街地に近く徒歩で利用できる、周辺住民との関りが持てる、学校を中心とした街づくりにつなげやすい、周辺住宅地への移住者が期待できる	住宅地への騒音

『僕たち私たちが考える学校を語ろう会』で出された小学生の意見

【学習空間について】

普通教室	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室が広くなって欲しい ・換気の良い広い教室 ・広々と使えて、物が置けるように広い教室 ・教室は今よりも広いほうが良い ・学習に集中できるようにエアコンが強力なものが良い ・広い教室 ・夏でも涼しく学習できる環境 ・各教室にスクリーン・大画面テレビ ・人数が多いと窮屈 ・コロナになるから広く
特別教室	<ul style="list-style-type: none"> ・理科室・音楽室×2ずつ
多目的スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに学年集会などに利用できる、学年ごとに集まれるスペースが欲しい ・多目的スペースがあると交流ができる
体育館 グラウンド	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館・グラウンドを充実して欲しい ・快適にいろいろな運動ができて、休み時間を楽しく過ごせるように退位機関とグラウンドを充実いさせて欲しい ・広い体育館やグラウンドは使いやすい ・体育館にも冷暖房が欲しい ・スペースがあると運動できる、厚がるしいのがいや、グラウンドに芝生があるといい ・広い体育館 ・冷暖房完備の体育館 ・たくさんの人が運動などができるようにしたい
ビオトープ	<ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープなど自然と親しむ空間を大切にしたい ・ビオトープは理科などの学習で役立つ ・学校の身近な所にビオトープがあると、自然と関わるきっかけになりそうだ ・生き物が好き、理科で使える、本物が見れる、にぎやか。 ・生き物がいる学校 ・生物に触れうのが大事だと思う
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットやたくさんの資料を広げることができる机 ・温水シャワーや低学年用の浅いプールのあるプール ・ちゃんとした更衣室 ・遊具が欲しい ・温水プール(室内プール) ・広い机 ・上下できる黒板

【生活空間について】

<p>校舎内環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思い物の持ち運びが大変なのでエレベーターが欲しい。 ・ 快適に過ごせるように冷暖房を充実させて欲しい。 ・ 死角の少ない構造にして欲しい。 ・ 臭くないトイレ。 ・ 楽に荷物を運んだり、けが人や車いすの人の移動のためにエレベーターを設置して欲しい。 ・ もしもの時の備えに非常用発電機が必要。 ・ 走ってぶつかったり、けがしたりするのを防ぐため死角はないほうが良い。 ・ 暖房は床暖で、夏涼しく冬暖かいように。 ・ 廊下は広いほうが良い。 ・ 水飲み場は混雑防止のために広いほうが良い。 ・ 子供だけでなく、様々な方が利用できるようにエレベーターがあったほうが良い。 ・ 広いロッカー ・ 一つ一つの部屋が広いトイレ ・ いろいろなスポーツができる体育館 ・ トイレの環境をもっと良く（広く、清潔）。 ・ エレベーターが欲しい（多数）。 ・ 照明→暗い所を軽くして欲しい（多数）。 ・ スロープ（2人）→体の不自由な方に。 ・ 死角を少なくした施設（6人）→いじめ防止・非行防止につながる。 ・ トイレ…トイレの数・広さ。
<p>校舎外環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不審者対策のために防犯カメラが必要。 ・ 広い駐車場が必要。 ・ 安全に遊べる屋上 ・ 授業参観などの出入りがスムーズなように広い駐車場。 ・ 校内、グラウンドの水道の数を増やす ・ 芝生のグラウンド ・ 遊具（5人）→もっと充実させて！ ・ 芝生（2人）→ケガを防止。 ・ 太陽光発電…災害のための太陽光。 ・ 雪かきのいらぬ玄関。 ・ スロープ…車椅子のスロープ。
<p>防犯・防災対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害用トイレ（4人）→災害が起きた時に必要。 ・ 非常用発電機…災害時にのための発電機。 ・ 防犯カメラ…不審者用防犯カメラ。 ・ 防犯カメラ

【地域との交流】

自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を親しむ時間が多く欲しい ・地域の先生などと一緒に自然に触れる機会が欲しい
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・花笠をつないでいきたい ・上ノ畑焼 ・徳良湖、銀山、ニッ森などについての歴史
地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの学習を地域と交流しながらして欲しい。地域を大切にしたい ・地域の人と仲良くなりたい ・ゆう大学 ・自分たちが知らないことを教えて欲しい ・クラブ活動で太鼓、茶道、書道、写真、俳句、バスケなどを教えてもらう ・地域の方が気軽に来校できたり、ゲストティーチャーとして授業に関わったりすることで、交流が活発に行われるきっかけになると思う ・児童も地域の安全・安全に利用できる交流スペース
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・尾花沢市の産業 ・尾花沢牛、スイカ、そば、花笠踊り

『僕たち私たちが考える学校を語ろう会』で出された中学生の意見

【学習空間について】

普通教室	<ul style="list-style-type: none"> ・人数が多くなっても距離をとれるように。 ・他学年の交流ができるように ・通路が狭く足が椅子に引っ掛かる ・人が集まると生徒数のわりに狭く物が多いので、部屋内の移動がしやすいように広く ・広い教室 ・予定表を見やすくわかりやすく
特別教室	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なものに触れ合えると学力が向上する ・誰もが使いやすくするため広い個室があればいい ・図書館にたくさんの本（広い図書室） ・理科室の実験台を大きく ・理科室にプラネタリウム ・音楽室をもっと広く
多目的スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年との交流、放課後学習 ・休み時間にゆったりできる場所が欲しい
少人数学習教室	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のペースで学習していける ・学校に登校しづらい子たち向けの教室を作ったほうが良い
体育館 グラウンド	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上、みんなで一緒に遊びたい ・運動がしやすいように ・みんなが集まるから広くしたい ・福中は規模が小さい、尾花沢中は年数を重ねている ・部活動で不便・危険だったことがあるので、部活のボールが他の部の所に行かないような設備が欲しい ・人数増加で狭い思いをしないようにする ・野球部のボールが陸上部の人に当り危険なので部活ごとのエリアが欲しい ・ハンドコートが乾かない ・体育館が熱い ・部活に対応して欲しい ・広くすると運動する人が増える ・部活動が充実するように広い体育館とグラウンド（全天候型） ・1周400mのゴムグラウンド、ハンドコート ・野球部と陸上部、卓球部とハンド部が別コート、メイン体育館とサブ体育館 ・体育館のエアコン ・野球部と陸上部の使うグラウンドを分ける（広くする、ゴムにする） ・体育館・グラウンドの設備が良くなって欲しい ・体育館で壊れそうなものがある ・グラウンドは陸上部・野球部が共用で危ない ・水はけが悪い ・体育館にクーラー、ヒーター

<p>体育館 グラウンド</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴムグラウンド ・中が芝生 ・外にバスケコート ・広く、第2体育館、ハンドができるように ・グラウンドをきれいに ・雪を考えた校舎内での部活動場所の確保 ・体育館を2つ ・体育館の通気性をよく ・陸上部と野球部のグラウンドを別に ・ハンドバールコートの草、水はけ ・野球場と陸上トラックが兼用で、いつもケガに注意している
<p>ビオトープ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生物をよりたくさん知って欲しい ・自然に対する気持ちを育む ・学校に登校するのが楽しみになる ・理科の授業につながる ・昔はウサギなどを飼っていて生き物の大切さを学べた ・自然に興味を持つ人が増える、理科で活用できる ・自然と触れ合える場所 ・理科の授業や委員会で使える ・昆虫や魚と触れ合うことが少ない ・ビオトープは自然に触れられるから、小学生に体験してもらいたい
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エスカレーター ・窓と壁がガラス、部屋がパーティションで仕切れる ・木の椅子でなく、プラスチックの丈夫な椅子にする ・個人で静かに集中して取り組める自習室が欲しい ・ホワイトボード ・電子パット ・ギシギシしない机と椅子 ・土足で入れるところ ・カーテンを使いやすく ・自販機 ・池 ・冷房 ・教室テレビ ・大きいロッカー ・左利きでも影ができない照明の配置 ・教室の机を大きく ・黒板をモニターに、ホワイトボードに ・ファイルが縦に入るロッカー ・ダンス学習用の鏡のある部屋

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会についていくためのICT活用 ・一人一人の個性が活かせる学校
-----	--

【生活空間について】

校舎内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策や開放感があるように教室を広く ・更衣室 ・障がいをもっている人も使いやすいように ・夏でも学習に集中できるように ・保護者や地域の人が誰でも学校を使えるように ・エコな学校にしたい ・教室は広いほうがスムーズに活動することができる ・トイレの臭いが気になる、トイレがきれいだと学校もきれい、洋式を増やしてほしい ・冬寒すぎる ・収納スペースが狭くてごちゃごちゃしてしまう ・地域の方々への配慮が大切なのでスロープが必要 ・体育や部活動で活用できる遊具があるといい ・冷房が教室に一台では涼しくならない ・トイレが臭くなく、和式を洋式に ・ロッカーが小さくて荷物が取りづらい ・トイレの掃除がしやすい洋式、個室に、トイレがせまい、照明を明るく ・水道、水屋を温水、冷水に ・冷暖房は夏涼しく冬暖かく ・尾花沢の冬は厳しいので水道から温水を ・きれいな広いトイレ ・4階建ては疲れるので3階建てが良い ・ロッカーはA4が入るサイズに ・冷暖房設備を十分に ・下足入れ大きめに ・音楽室は1階に ・エレベーターを広く ・屋上にプール ・廊下の電気を明るく ・全部様式トイレにして欲しい ・吹奏楽部の学期が入る広いエレベーターがあるといい ・教室を広くしてほしい、収納スペースの充実 ・暑さ寒さで集中できないのでしっかりした冷暖房を ・机と机の間が狭いので教室を広く ・ファイルが入らないので収納スペースを ・トイレをもう少し清潔に ・階段を少なく ・エレベーターの場所を工夫して
-------	---

<p>校舎内環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレをきれいに ・屋上を使えるように ・ロッカーを大きく ・更衣室を作る ・シャワールーム ・巨大スクリーン ・室内グラウンド、ピロティ ・電話を多く ・トイレの入口にドアを付けてもっと広く ・楽器などを運べるくらい広いエレベーター ・スロープ ・エスカレーター ・多目的トイレ ・エレベーター、エスカレーター ・きれいなトイレ ・階段脇にスロープ ・更衣室 ・室内プール ・体育館ギャラリー ・最近では小学生も体格が大きい子がいるので、天井を高くしてほしい ・トイレが汚く、ウォシュレットがない ・エアコンの性能が悪いのに教室に1台しかなく暑い、廊下や体育館が寒い ・地域の人やお年寄りの人も使いやすい学校
<p>校舎外環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな駐車場が授業参観などの行事に必要 ・草花はリフレッシュ、リラックス効果がある ・スプリンクラーは熱中症対策になる ・障がい者やケガの人が利用しやすいようにスロープがあるといい ・日陰で休めるようなベンチがあるといい ・野球の外野部分に芝生が欲しい ・保護者のために駐車場を広く ・楽しく遊べる遊具の設置 ・遊具をつける ・ジム ・駐車場、駐輪場を広く ・ソーラー発電の導入 ・スプリンクラー ・自転車駐車場 ・外に水飲み場 ・楽器がすべて入るエレベーター ・体育館に冷暖房

校舎外環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館を2つ以上 ・ 人工芝グラウンド ・ 雨天時でも使用できるグラウンド ・ ゴムグラウンド ・ 雨天時用のトレーニング(ランニング) コース ・ 冬期間、学区が広がることで駐車場が不足する ・ 車イスの人も安全に登下校できるように
防犯・防災対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯カメラ ・ 死角を少なくすると事故防止につながる ・ 何かあった時のため、夜に誰がいるかわかるようにする ・ 怪しい人が入ってこないようにする ・ 顔が確認できる ・ 防犯上職員室は1階、オートロックで玄関が閉まる ・ 部活帰りが暗くて怖いので常夜灯が必要 ・ 地震の時に使えるように災害用トイレが必要 ・ アルソックの警備 ・ カメラ付モニター ・ 死角がなければ変な人は入れない ・ 避難所になっても安心できるように ・ 防犯は万全に（オートロック）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食をおいしく ・ お掃除ロボット ・ バス通が多く体力不足、肥満傾向

【地域との交流】

自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑がいっぱいあるので、自然な環境で学習できたらいい ・ 雪を活かしたもの ・ 自然が豊かなので自然体験を大切にしたい
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 银山温泉を活用するなど、様々な歴史文化を知って欲しい ・ 花笠、徳良湖 ・ 芭蕉資料館があるので歴史を大切にしたい
ふるさと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活してきた自分の市が大好きだから、大切にしていきたいからふるさとを大切に ・ 地域のことを知る必要がある
地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と仲良くしていきたい ・ 地域の企業との体験活動がしたい ・ 地域の人との関わり ・ 尾花沢の自然や文化を学ぶ ・ 地域交流のボランティア活動 ・ 高齢化で地域での交流が減っている ・ 山岳部（地域の人と） ・ グラウンドゴルフ大会

その他	<ul style="list-style-type: none">・すいか、牛肉、鮭・魅力的なまちづくり・冬季以外のオリンピック選手を出す・郷土料理を一緒につくる・新品種スイカを共につくる
-----	---

令和 4 年

第 5 回尾花沢市小中学校建設検討委員会 議事録

- 1 日 時 令和 4 年 9 月 27 日 (火)
午後 7 時 00 分～午後 9 時 00 分
- 2 場 所 悠美館 2 F ハイビジョンホール
- 3 出席者 検討委員 18 名、アドバイザー 3 名、事務局 6 名

会議次第

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ (笹原委員長)
- 3 報告事項
 - (1) 第 2 回新しい学校を考える市民ワークショップ開催結果
 - (2) 「僕たち私たちが考える学校を語ろう会」で出された意見
- 4 協議事項
 - (1) 尾花沢市小中学校建設基本構想・小学校建設基本計画(案)
 - Ⅱ. 小中学校建設基本構想
 5. 学校施設整備の進め方
 - (1) 尾花沢市が目指す教育の方向性
 - (2) 尾花沢市が目指す学校のコンセプト
 - (3) 具体的な学校施設整備の方向性
 - ① 学習空間について
 - ② 生活空間について
 7. 建設計画地の概要
 - (1) 建設場所の考え方
- 5 その他
- 6 閉会

議事録

委員長あいさつ

本日は、大変お忙しい中、お集まりいただき大変ご苦労さまです。コロナ禍でいろんなイベントが中止または延期となっておりますが、実りの秋として多くの収穫に期待したいと思っております。これまで検討委員会の中で、基本構想についてご検討いただき進めてまいりました。本日は検討委員会としての学校建設用地について選定していく、大変重要な会議であります。前回決定した選定指針に基づき評価を行い、その結果がこの会議で示されることとなりますが、その内容について検討委員の方々よりご検討いただき、よりよい方向に進められることを期待しております。よろしくお願いたします。

報告事項

(1)第2回新しい学校を考える市民ワークショップ開催結果・・・資料2

※事務局より説明

(2)「僕たち私たちが考える学校を語ろう会」で出された意見

※事務局より説明

委員長：今の説明に対して質疑及びご意見等があればお願いします。

※質疑等なし

委員長：特にご意見、ご質問がなければ、次の協議に進みたいと思います。

協議事項

(1)尾花沢市小中学校建設基本構想・小学校建設基本計画(案)・・・資料1

Ⅱ. 小中学校建設基本構想

5. 学校施設整備の進め方

(1)尾花沢市が目指す教育の方向性

(2)尾花沢市が目指す学校のコンセプト

(3)具体的な学校施設整備の方向性

①学習空間について

②生活空間について

※事務局より説明

委員長：今の説明に対して質疑及びご意見等があればお願いします。

委員：小学校と中学校を併設して整備する考えであるが、学校施設整備の補助金等についてはどのようなのか。

事務局：学校施設整備に係る補助金については、学校が完成し開校する年度の児童数をもとにその時点でのクラス数が分かりますので、それらをもとに補助金の額が算定されます。また、中学校については、今後市の財政状況なども考慮し整備年度を判断していくこととなりますが、その時点での生徒数からクラス数を積算し、補助金についても計算していただくこととなります。体育館についても小学校と中学校とも、整備する面積を元に積算し、補助を受けることとなります。

委員：インクルーシブ教育という表記がありますが、これについて説明願います。

事務局：インクルーシブ教育については、包括的などという意味合いがあるが、障がいや性に関わることなどすべてにおいて区別しないで「共に育つ」という意味合いがございます。

委員：市の上位計画とは、整合性がとれているのか。

事務局：本市が掲げる学校教育についての方針や計画がありますが、この本市が目指す教育を実現するために、どのような学校施設を整備していくかという考えを、この部分で具体的に提示したものであります。あくまでも、上位計画を踏まえた上でのコンセプトであります。

委員長：それでは、その他にご意見、ご質問がなければ、事務局より示された原案とおりとすることよろしいでしょうか。

委員：異議なし ※委員の了承を得る

7. 建設計画地の概要・・・・・・・・資料1

(1) 建設場所の考え方

※事務局より説明

委員長：今、事務局方からは、建設場所の考え方として、5ヶ所の候補地について、アドバイザーと事務局で比較評価した結果について説明がありました。評価結果としては、候補地5が学校建設用地としては一番適しているとの結果になっております。

今の説明及び評価結果に対して質疑及びご意見等があればお願いします。

委員：候補地5が学校建設場所として適している結果ではありますが、この場所には、地下の状況で心配される点があるわけではありますが、こうした地下の状況についての不安点を払拭するための、安全かどうかの確認を今後どのように考えているのか。

事務局：この候補地に決定した場合は、その後、用地測量、現況測量、地質調査を行う計画です。地下の部分についてもしっかりと調査を行って設計に入っていく考えであります。

委員：決まってから調査ではなく、決める前にこの場所については大丈夫だという確認が必要だと思いますが、どのようにお考えなのでしょうか。

事務局：この候補地5については、現時点で過去に陥没等があったという事例は確認されておりません。また、採掘に係る坑道の陥没については、文献によれば、採掘後の陥没の発生としては、約25年経過で90%、約40年経過で99.9%の確率で発生するとのことであります。こうしたことから、この候補地5について陥没した事例が聞かれていない状況を踏まえれば安全ではないかと思われれます。もし、坑道があったとしても、支持地盤まで杭を打って、安全な建物の建設を進めていく考えです。やはり、安全な場所かについては確認する必要がありますので、地質調査を行い地下の状況を確認した上で、安全な校舎を整備する工法で建設を行っていく考えです。

委員：亜炭採掘の坑道について、過去にこの事業を行った関係の資料などは無いのでしょうか。

事務局：当時は、採掘に係る事業計画があったものと思いますが、関係機関にも確認しましたが、現在どのような場所で採掘を行ったかなどの資料は残っていないということ聞いております。

委員：各地区から児童生徒が1カ所に集まってくることになりますが、そうした中でスクールバスの導入の計画などは立てられているのか。

事務局：現在、14台のスクールバスで運行しておりますが、現時点で、統合時のスクールバスの導入に係る計画は立てておりません。

委員：5ヶ所の候補地について、場所を決める上で購入費用もどうなのか比較が必要かを思うが、鑑定評価は行っているのか。

事務局：鑑定評価については、場所を決定した後に行う考えであります。また、どの候補地も農地であります。建設場所の選定にあたっては、購入価格よりも、子供たちにとって安全でより良い学習環境はどこかという視点で決めていくべきであろうと考えております。

委員：候補地5については、徒歩通学が遠くなってしまう地区もありますが、できれば街の中心に学校があるのが理想だと思います。例えば、街の中心あたりに別の候補地というのは無いのでしょうか。

事務局：この候補地 5 ヶ所については、小中学校を併設できる面積が確保できる場所として、市街地で 7～8 ha の面積が確保できる場所としてこの 5 ヶ所になっております。

委員：候補地の評価について、前回の検討委員会でアドバイザー 3 名と事務局での評価となったわけではありますが、客観的な評価を担保する上で、アドバイザーだけでの評価とし、事務局の評価は含めるべきでなかったのではないかと感じておりますがいかがでしょうか。

事務局：建設場所を決定していくということは大変な重責であると考えております。アドバイザーの方々については、様々な見識をお持ちでありますので、その中で評価していただき、各候補地の実情を理解する事務局としても、本市の子供たちが学ぶ場所になりますので、アドバイザーだけに任せるのではなく、教育委員会としての評価もあるべきだと考えております。

委員：候補地の評価については、アドバイザー 3 名と事務局の 4 者で評価されているが、この評点については、マイナス要因がいくつあるかでマイナス何点というような付け方なのか、それとも評価者の主観で減点しているのかお聞きしたい。

事務局：何も問題がない場所については 5 点の満点であります。そこから比較し、マイナス要因がいくつあるからマイナス何点というような基準は設けておりません。あくまでも、各候補地を比較し、満点の場所に対してどうか、また候補地どうしを比較してどうかといった中で評価していただいております。

委員：評価項目の 20 番で、徒歩での利用がしやすいとか難しいとかでの評価になっているが、これは夏場のことであり、冬場はどの場所であっても尾花沢市は徒歩は難しいか思うがこの点はどうか。また、歩道の除雪を新たに行わなければならない場所もあるが、こうした歩道の除雪経費の試算はされているのか。

事務局：徒歩については、夏場だけで冬場は考えなくてもいいのではなく、年間を通じて考えていくべきだと思います。除雪に係る経費の試算は行っておりませんが、新たに除雪をすることになればその分の経費が必要となるわけありますので、その点で減点になっているものと思います。

委員長：ここでアドバイザーの方からお話をいただきたいと思います。

アドバイザー：事務局より資料をいただき評価しましたが、客観的に評価し100%間違いがない評価だとは思っておりません。アドバイザーという立場で評価しましたが、私なりの主観が入った評価だと思っております。この評価結果を見て、この評価が妥当なのかどうかしっかりとご検討いただき判断していただくのが検討委員会の役割だと思っております。私も最終的には候補地5が一番いいと判断しましたが、地下の見えない場所の不安はあり迷ったところでもあります。ただ、どの場所も全く不安がないということはないので、場所を決めた上でその不安にどのように対処していくか、検討委員会の中でいろいろと意見を出し考えて頂けるといいのではないかと思います。

アドバイザー：私は建築に関わる専門家として、資料を基に判断させていただきました。評価については、専門家の目から見てどうなのかという視点で判断していいのではないかと思います。地下の空洞に関しては、建築業者においてはしっかりと調査した上で、陥没しないことを前提に建物を建設しますので、その点については専門業者にお任せしていいかと思います。

アドバイザー：私も、やはりアドバイザーという立場で評価させていただきました。その内容についてはしっかりと検討していただいて判断していただければと思います。私も候補地5が一番いいと思いましたが、地下の心配もありますので、しっかりと地質調査を行っていただければと思います。候補地5については、ワークショップの結果からも、心配な部分が少ないという点がいいのかなと思います。

委員長：学校建設用地について、評価結果から候補地5が最適であるとの結果がありますが、検討委員会として候補地5を建設用地として決定してよろしいでしょうか。

委員：異議なし ※委員の了承を得る。

委員長：その他であります、何かあればお願いします。

委員：検討委員会の議事録は、市のホームページを参照することでよろしいのでしょうか。

事務局：そのようにお願いします。

委員：この会議として候補地が決まりましたが、今後どのような流れで最終的に決定し公表されるのかお聞きしたい。

事務局：今回、検討委員会として最優先候補地を決定いたしました。今後の進め方として、検討委員会より教育委員会に対し提言書を提出していただく考えです。その提言書を教育委員会で受理し、その後総合教育会議に報告し、その中での意見を踏まえ、最終的には市長の判断をもって最終決定となります。この提言書の内容については、委員長と事務局で調整させていただき、後日文書で各委員に送付いたしますので、内容を確認いただき了承するかどうか文書で確認したいと思います。

10月末に総合教育会議を予定しておりますので、その会議をもって公表されるものと思います。また、11月中旬に市報を通じて市民の方に周知する予定です。

事務局：検討委員会のスケジュールについて、今後、基本設計、実施設計や用地購入、また建設工事という流れで進んでいくわけではありますが、かなりタイトなスケジュールであるとアドバイザーからお話をいただいております。こうしたことから、当初来年度8月までのスケジュールでしたが、これを早めて今年度中に基本構想、基本計画を策定していくスケジュールに変更したいと考えております。ご理解のほどよろしく願いいたします。

アドバイザー：スケジュールの変更の件ですが、候補地が決まったとしても、農業用地であることから今後農振除外や開発行為の手続きなどに相当時間を要すると思われる。また、冬期間は雪で工事が中断されることもあるので、急いで進めていく必要があることを事務局にアドバイスさせていただきました。

その他

※事務局より事務連絡

・ 次回の検討委員会の日程について説明